



News Release

2010年 12月 28 日

(株)サン・ライフからの寄付金が 国道 134 号線千石河岸沿道での植樹祭に活用 新しい生命を植える活動及び CO₂ 削減に貢献

2010年12月15日、株式会社サン・ライフ(本社:神奈川県平塚市/代表取締役社長 比企 武)が支援し、協賛する、障害者支援団体の社会福祉法人 進和学園*1様が推進する植樹プロジェクト『いのちの森づくり』が国道134号線千石河岸沿道にて植樹祭を開催。進和学園の皆様、地元自治会の有志の皆様とともに、当社役員も植樹に参加させていただきました。

今回の植樹は、県土木事務所との連携による3回目の植樹で、国道134号千石河岸沿道を対象に行われました。国道134号線暫定4車線化工事は、平成26年度中に完成予定で、この工事が完成すれば、慢性的な交通渋滞による日常生活や経済活動への多大な支障を軽減できると言われています。

その地域住民の交通を支える国道134号線沿道での植樹には、サン・ライフからの寄付金が、500本の苗木代金として有効に活用され、環境保全を通じて当社が僅かでも地域の皆様のお役にたてたことを誇りに思っております。当社では、今後もCO₂削減活動等、自然環境保護に取り組むとともに、障害者の雇用創出を支援する等、積極的に地域に貢献してまいります。

<植樹祭当日の様子とご参加された皆様>



*1 社会福祉法人 進和学園は、宮脇昭先生(横浜国立大学名誉教授、国際生態学センター長)が提唱される潜在自然植生理論に基づく〔その土地本来の木による本物の森づくりを〕目指し、〔どんぐり〕の実から植樹用のポット苗を栽培するプロジェクトを推進しています。